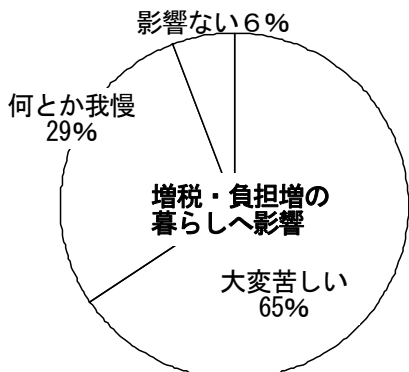
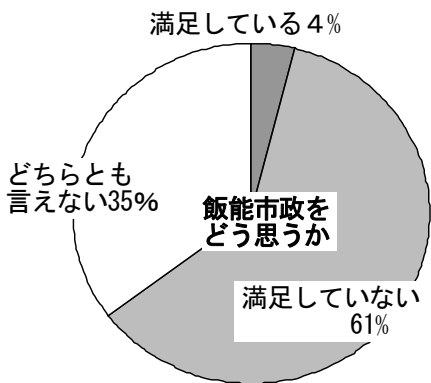


市民アンケートに思い、要求がびっしり

743通が寄せられました ご協力ありがとうございました



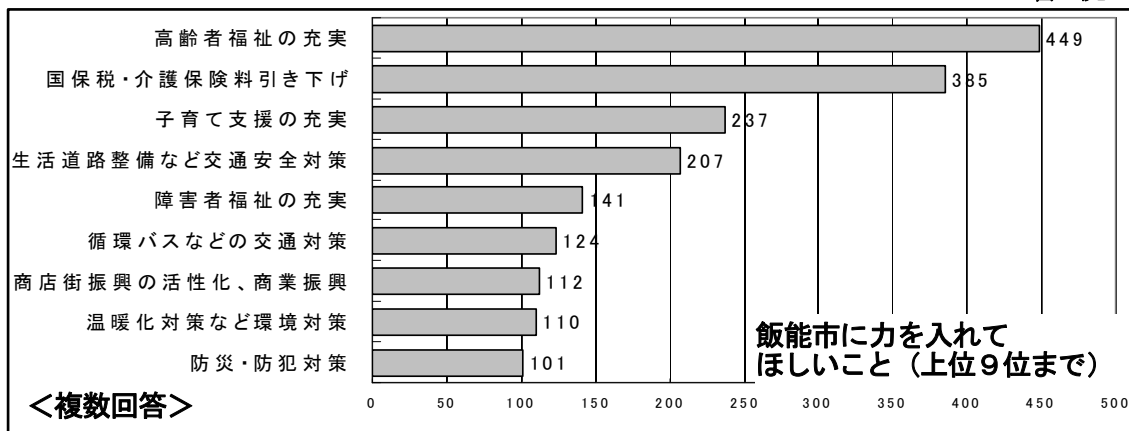
増税と負担増で生活は苦しい

まずこの間、定率減税の廃止や国保税増税など増税や負担増がどのように影響

日本共産党飯能市委員会は、この間、市民要求アンケートに取り組んできました。ご協力いただき、ありがとうございます。7月8日現在743通の回答があり、様々な思いや要求が記入されています。アンケート結果の概要について、お知らせします。(集計は732人で分析)

アンケートに寄せられた要求はとりまとめ、市・県・国等に要望してまいります。

しているか尋ねたところ、大変苦しくなったと答えた人が65%にも及び、何と

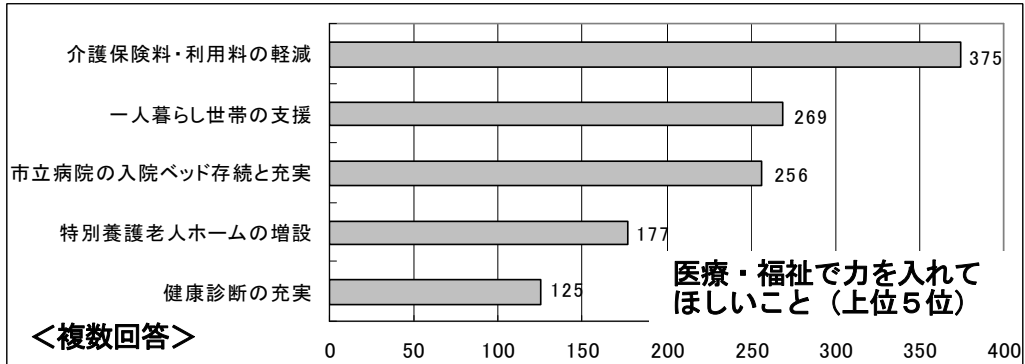


か我慢できる29%、それほど影響はない6%を大きく上回っています。

飯能市政に不満61%

飯能市政については、満足しているが4%に対して、満足していないが61%にも及んで

います。その主な理由は、生活道路・歩道整備がされていないこと、子育て支援が不十分なこと、特に他市から転入した若い世代



の不満が大きいたことが明らかにになりました。

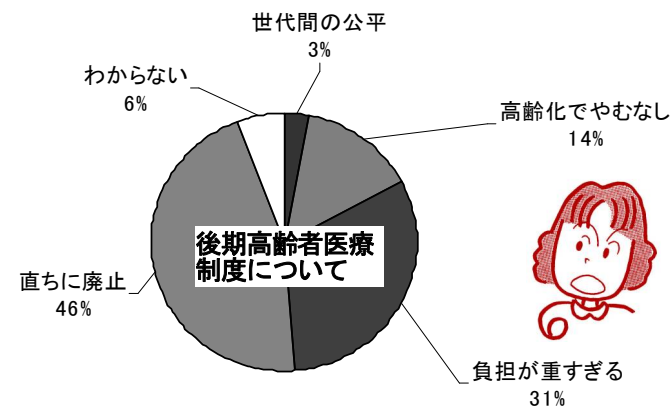
高齢者福祉の充実を

飯能市に何に力を入れてほしいかでは、高齢者福祉を望む声61%、続いて国保税・介護保険料の引き下げが53%ののぼりました。

高齢者福祉のうち、介護保険料・利用料の軽減が51%あったほか、一人暮らし世帯の支援を望む声37%と2番目に高かったことは今後の施策をすすめる上で注目されます。

後期高齢者医療制度は直ちに廃止を

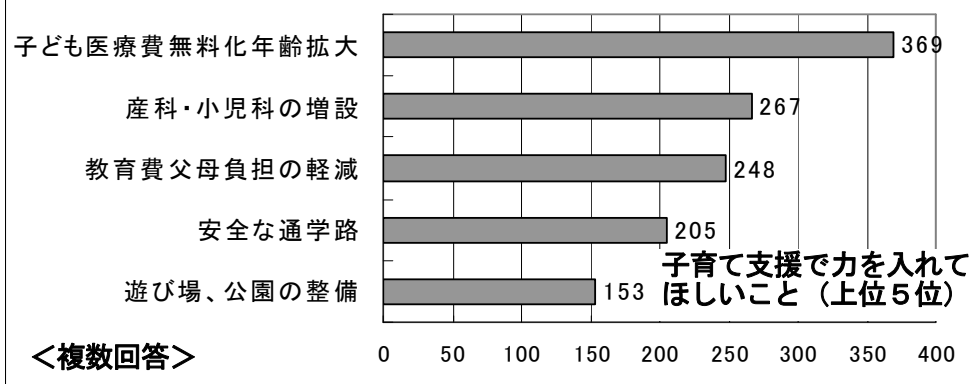
4月から始まった後期高齢者医療制度については、



負担が重すぎるが31%、直ちに廃止すべきだと答えた人が46%にものぼっています。

子どもの医療費対象年齢拡大を

子育て支援では、子どもの医療費無料化年齢の拡大を求める声が圧倒的で50%、続いて産科・小児科の増設などを求める声36%、教育費父母負担の軽減が34%と続いています。

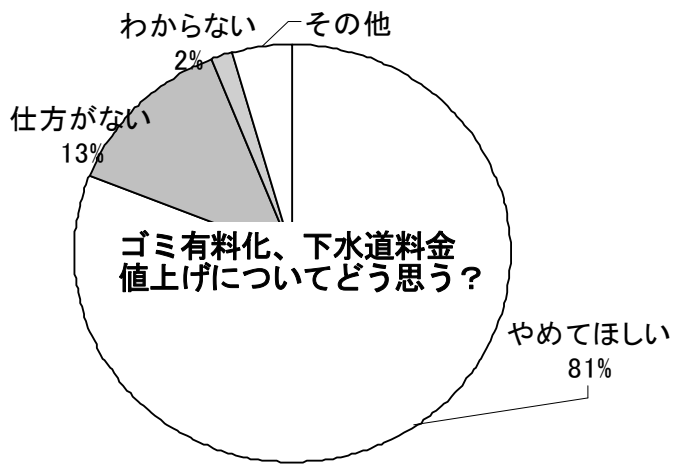


負担増とサービ ス切り捨ての 「行革」にノー

飯能市が進めようとしている「行革」計画の家庭ゴミの有料化、下水道料金の値上げ、学校給食の民間委託についてお聞きしました。

有料化や値上げ反対が8割超にも

市は、21年度に、家庭ゴミの有料化と下水道料金値上げを計画していますが、81%の人がやめてほしいと考えており、仕方がないと

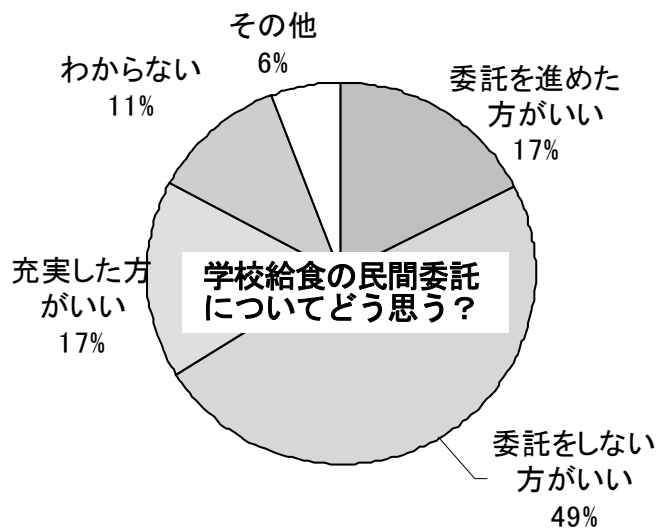


の13%を大きく上回っています。



学校給食 民間委託反対が66%

学校給食の民間委託では、時代の趨勢で委託すべきと答えた人が17%、委託しない方がいい人が49%、食



県水はこれ以上増やすべきではない

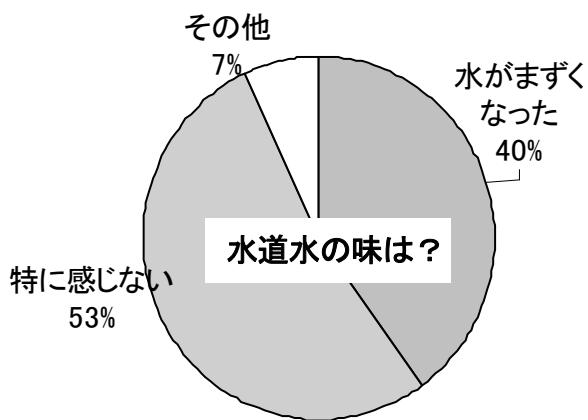
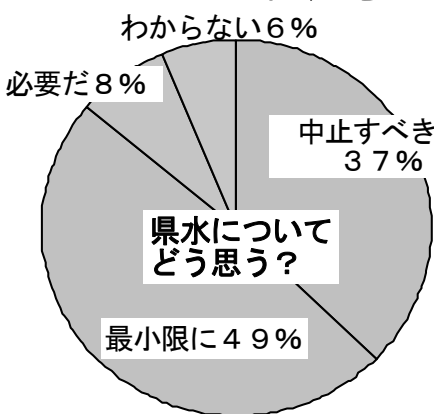
育の観点から充実すべきの人が17%で、合わせて66%の人が「委託しないで充実すべきだ」と回答しています。

県水についてどう思うか尋ねたところ、安定した水源確保のために必要だと考えている人は8%、中止すべきだと答えた人が37%、最小限にとどめるべきだと答えた人が49%で、これ以上県水を増すべきではない



4割の人が水がまずいと感じている

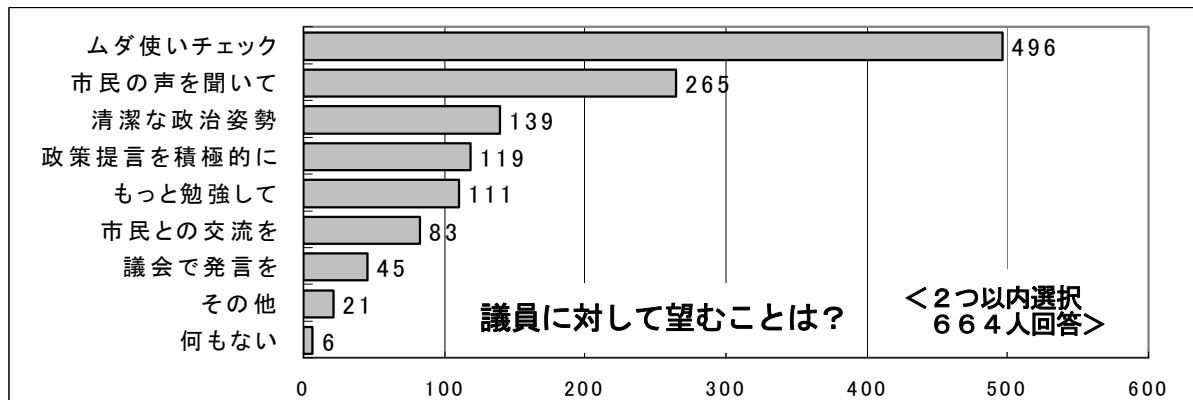
水道水の味については、4割の人がまずくなったと感じていることがわかりました。また、飲料用としては購入している人が多いこ



いと考える市民が圧倒的でした。

議員はムダ使いのチェックを

議員に望むことを聞いたところ、ムダ使いのチェックが75%と最も多く、続いて市民の声を聞いてほしいが40%、清潔な政治



ともわかりました。

アンケート集約結果

回答者は男性51%、女性49%の回答でした。回答者の年齢では、20代30歳代まで13%、40代10%、50代18%、60代3%、70代以上が26%になっています。

予算要求にむけて

これから、県の来年度予算要求の時期になります。みなさんから頂いた声をとりまとめ、要求書の提出、対市・県交渉、緊急政策提言なども計画して行きたいと思えます。

記述ではアンケートを歓迎する声が多く、回答者の3割以上が記入し、地域要求では道路、歩道や通学路整備、街路灯の設置などが地図入りで書かれています。市政に対しては、子育て、行革、図書館建設などについて不満の声が寄せられています。国政では後期高齢者医療制度に対する不満が激しいものが多数ありました。